

1. 遺跡名 上行寺裏遺跡
(じょうぎょうじうら)
(瀬戸14番地やぐら群)

2. 所在地 横浜市金沢区瀬戸

3. 時代 中世

4. 調査概要

本遺跡は京急金沢八景駅西方の丘陵に位置します。遺跡周辺は中世に六浦津として鎌倉に物資を送るための湊として栄えた地で、中世の遺跡が多く残されています。この丘陵の周囲にはいくつかの「やぐら群」が展開しており、今回調査を実施した地点は中世に能仁寺があったと伝えられる谷戸の崖裾部分にあたります。

今回の調査は神奈川県県土整備部横浜治水事務所による急傾斜地崩壊対策工事に伴う記録保存調査として実施したものです。調査では中世のやぐらが4基とやぐらに伴う地下式坑1基、副室1基が発見されました。やぐら床面に入口をもつ地下式坑は類例が少ないものです。





遺跡遠景



中世のやぐら

